

令和2年8月11日

関係各位

国立大学法人金沢大学長
山崎 光悦
(公印省略)

文部科学省令和2年度科学技術人材養成等委託事業「リサーチ・アドミニストレーターの認定制度の実施に向けた調査・検証」における審査試行の協力者（受審者）の募集（通知）

金沢大学は文部科学省令和2年度科学技術人材養成等委託事業「リサーチ・アドミニストレーターの認定制度の実施に向けた調査・検証」を受託し、現在、リサーチ・アドミニストレーター（以下、URA）関連団体（医療系産学連携ネットワーク協議会、学術研究懇談会、研究大学コンソーシアム、「多能工型」研究支援人材育成コンソーシアム、一般社団法人大学技術移転協議会、リサーチ・アドミニストレーター協議会、国立研究開発法人科学技術振興機構）の協力のもと、事業を進めております。

本事業では、文部科学省令和元年度科学技術人材養成等委託事業「リサーチ・アドミニストレーターに係る質保証制度の構築に向けた調査研究（受託機関：金沢大学）」で検討した認定スキームに基づき、認定URAおよび認定専門URAの審査の試行を行うこととしております。

ついては、本試行に受審者としてご協力いただける方を別紙の通り広く募集いたしますので、関係者の皆様へのお声かけをお願い申し上げます。

なお、今回は試行のため、ご協力のお申し出をいただいた方の属性等を考慮してより効果的な検証を行う観点から、ご希望に添えない場合があることをあらかじめご承知おき下さい。

「リサーチ・アドミニストレーターの認定制度の実施に向けた調査・検証」

審査試行の協力者（受審者）の募集

今回は、認定 URA、認定専門 URA 審査試行の協力者（受審者）を募集します。応募いただける方は、それぞれ次の条件を満たす方とします。

（制度設計における要件を満たすことは現時点では不可能であるため、「試行における要件」として条件を設定しています。）

なお、条件に先立ち、制度設計における URA 人材の定義および認定 URA、認定専門 URA の人材像を示します。

<URA 人材の定義>

URA：大学等組織全体を俯瞰しながら、学術的専門性を理解しつつ、自身の業務に関する専門性とセクターに偏らない能力を駆使して、多様な研究活動とそれを中心に派生する様々な業務に積極的かつ創造性をもって関わり、研究者あるいは研究グループの研究活動を活性化させ、組織全体の機能強化を支える業務に従事する人材

※URA 人材に URA という職名であることを求めています。職名に係わらず、従事する業務で定義しています。

<各レベルの人材像>

【認定 URA】

URA（あるいは類似職）として関わる業務全般の知識を一定レベル以上備え、かつ大学等、我が国の研究組織での一つ以上の中核的業務*の経験を有し、研究者、研究グループの研究活動の活性化に主体的に関わる能力を備えた人材

【認定専門 URA】

URA（あるいは類似職）として十分な実績を有しており、一つ以上の中核的業務*に関する卓越した能力を備え、組織内外の関係者と協力して研究者、研究グループの研究活動の活性化に重要な位置付けで寄与するとともに、組織の機能強化に貢献できる人材

*中核的業務：当該申請者が主として従事している業務

本試行において応募者に求める条件

【認定 URA】

大学等において URA 業務あるいは類似の業務の経験が 3 年以上あること

（注）ここでは大学等での業務経験を条件としていますが、企業等での業務経験を一部に参入することが認められます。詳しくは、認定 URA の審査の要項をご覧ください（本事業の web サイトに掲載しています）。

上の URA の人材の定義で述べているように、URA の業務の範囲は研究活動の活性化と組織全体の機能強化を支える業務です。そして、URA にはそれらの業務を遂行するために必要な資質と態度を求めています。つまり、ここで言う URA 業務とは、業務の範囲だけでなく、その資質や態度を含んだものを意味しています。類似の業務とは、このような意味での URA 業務にかなり該当する業務を意味しています。

【認定専門 URA】

以下の専門業務区分のいずれかにおいて、卓越した業務遂行能力を有していること

(a) プロジェクト企画・運営（プレアワード、ポストアワード）

(b) 知的財産管理と活用（URA 活動を行う上で必要な知的財産の管理と活用）

（注）卓越した業務遂行能力の有無は審査の対象ですので、応募段階では証明の必要はありません。応募者の判断によります。

制度設計に基づく認定専門 URA の申請要件は、申請時に認定 URA であることと Advanced レベルの研修プログラムの修了ですが、今回の試行においてこの要件を求めることはできませんので、業務経験年数が 5 年以上であることを目安としてご協力いただける方を募集いたします。

協力者（受審者）にお願いすること

【認定 URA（書面審査）】

「認定 URA の審査の要項」を踏まえた審査プロセスの実施と終了後のアンケートへの回答詳細は、認定 URA の審査の要項をご覧ください。

【認定専門 URA（面接審査）】

「認定専門 URA の審査の要項」を踏まえた審査プロセスの実施と終了後へのアンケートへの回答

詳細は、認定専門 URA の審査の要項に記されていますが、面接審査は 11 月に実施予定です。具体的な実施日時・方法については関係者による日程調整、社会情勢に基づき決定します。

募集人数

【認定 URA】

20 名程度

【認定専門 URA】

20 名程度

本試行における認定結果の取り扱い

認定結果は本試行限りとし、今後の認定制度には継承されません。

本試行へのご協力に対して

本試行へご協力いただく方には、ご希望に応じて本学の規定に基づき旅費・謝金をお支払いいたします（旅費は発生する場合のみ）。

協力のお申し込み

下記のリンクへお進みいただき、必要事項をご入力の上送信してください。

<https://ura-cert.w3.kanazawa-u.ac.jp/form4/>

お申し込み期限

令和2年8月27日（木）17:00

短期間となりますが、たくさんのお申し込みお待ちしております。

お問い合わせ

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 URA 質保証事業担当

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL：076-264-5266（稲垣），6111（加藤）

6094（浦野，松田，山本，吉岡）

FAX：076-234-4016

E-Mail：ura_cert@adm.kanazawa-u.ac.jp